

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（11月定例会）
開催日時	令和5年11月24日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：伊尻委員、小野委員、檜出委員、川原委員、河野委員、坂内委員、酒見委員、 澤井委員、高橋委員、谷関委員、長谷川委員、松本委員、米村委員 事務局：神保社会教育係長、野田主事
議題	(1) 生涯学習推進指針について (2) 提言テーマについて
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題（1） 生涯学習推進指針について</p> <p>○事務局：前回の定例会でお示しした、生涯学習推進指針のたたき台について、頂戴したご意見を踏まえ、文言を修正したので確認をお願いしたい。 また、指針の上位計画である、現在策定中の教育計画でも生涯学習について記述があることから、計画と指針で整合が取れているかの確認をお願いしたい。</p> <p>○議長：指針のたたき台について意見等あるか。</p> <p>○委員：教育計画を確認して、学び直しの視点と学習資源の活用について触れられてもよいのではないか。</p> <p>○事務局：検討する。</p> <p>○議長：その他意見等あるか。</p> <p style="text-align: center;">一同意見なし</p> <p>○事務局：今後は、今回の定例会でいただいた意見を踏まえて検討した後、指針を庁内照会する。そのため、文言や内容の順番等に、修正がありうることをご承知いただきたい。</p> <p>議題（2） 提言テーマについて</p> <p>○議長：前回の定例会で、「新たな時代における社会教育のあり方—多様な人々がつながるネットワ</p>	

ークづくりのために一」を仮テーマとした。

執筆については、前回の提言同様、各委員で執筆を分けて、各委員の強みを文章に活かすことを想定している。

章立てについて現段階ではブレインストーミングのように自由に提案をいただきたい。

○委員：テーマ中の「新たな」について、委員の中で認識を揃えた方がよいのではないかと。

○委員：「新たな」については、定例会を進めていく中で、定義していき、本文中に説明ができればよいと考える。

副題が「～ために」で終わっている点が気になる。「～を通して」にするのはどうか。

○議長：他に意見等あるか。

○委員：副題の「～ために」部分が気になる。ネットワークづくりのための社会教育ではなく、社会教育自体を議論したい。

○委員：ネットワークづくりと場づくりは違うニュアンスである。場づくりについても触れられないだろうか。

○委員：テーマはできるだけ焦点を絞った方がよいと考える。場づくりについては本文に内容を入れられればよいと考える。

○委員：ネットワークとつながるは違う意味か。ネットワークについて詳しい方がいれば教えてほしい。

○議長：ネットワークは様々な意味があるが、社会教育上では人のネットワークを意味すると考える。

○委員：副題の「多様な人々」についても説明が必要であると考えます。

○議長：新たな時代と多様な人々の説明、場づくりについては本文のなかに入れるということで良いか。また、テーマについては微修正を加えて、「新たな時代における社会教育のあり方—多様な人々がつながるネットワークづくりを通して—」とするのはどうか。

一同同意

○議長：章立てについて意見を頂戴したい。また、新たに章立てに入れたいテーマや関心のあるテーマがあれば発言願いたい。

- 委員：ネットワークについて本文中に説明は必要だと思うが、全体的なテーマでもあるので、章立てとして設けなくてもよいのではないか。
- 委員：章立てのキーワードとして挙げられている「協働」はどのようなイメージか。
- 委員：協働は対等な立場でつながり、手を取りあうことを意味すると考える。子どもの居場所、不登校についても、含められるような章立てを考えたい。
- 委員：活動に参加する側、活動を担う側の参加の心理的ハードルを下げるのが、場づくりにもネットワークづくりにも発展すると考える。
- 委員：誰も取り残さないという視点を持った内容の章立ても考えていきたい。
- 委員：部活動の地域連携から地域移行の検討が進んでいる。地域との連携を考えるうえで教員の働き方についても考えていきたい。
- 委員：別室登校の児童生徒の支援や、教員の働き方を考えるうえでも学校での課題やこれまで学校で行っていたことを地域と連携できないか、他の審議会の間でも検討していた。学校と地域の連携についての章の内容としても含められそうである。
- 委員：公民館についての内容は入れるのか。
- 委員：公民館のネットワーク、図書館のネットワーク、学校と地域のネットワークについてそれぞれに焦点をあてた章があっても良いと考える。
- 委員：社会教育でネットワークと考えると公民館や図書館を連想するが、視野を広げるとネットワークから連想されるワードは多数ある。狭い領域での議論にならないようにネットワークのイメージについて広げる作業をすることが大切であると考えます。
- 委員：学校と地域の連携については、学校に地域の方が集うことで地域の方にとって社会教育となっている。学校と地域が支え合っていくことが大切であると考えます。
- 委員：提言した後の発信が大事であると考えます。この会議の研修として、広報について学んでみたい。
- 議長：提言の章立てについて次回定例会で引き続き検討したい。また、研修内容についても意見があれば次回定例会で頂戴したい。

次回会議

日時 令和5年12月22日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 3階会議室